

湯河原営農経済センターだより

令和7年8月
TEL62-6149

西湘きんごろう



○営業時間の変更について

令和7年7月31日(木) 15時まで営業

令和7年8月29日(金) 15時まで営業

○湯河原営農経済センター展示即売会のお知らせ

日次：令和7年9月6日(土) 9時～11時30分

※時間外の商品の引き渡しは準備の都合上できませんのでご了承ください。

——【温州みかん】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除

7月下旬～8月中旬

○黒点病

ジマンダイセン水和剤又はペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100ℓ
収穫30日前 4回

○カイガラムシ類
チャノキイロアザミウマ

コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 収穫前日 3回

○ミカンハダニ
ミカンサビダニ
アザミウマ類

メビウスフロアブル(劇) 3000倍 33ml/水100ℓ 収穫7日前 2回

8月下旬～9月上旬

○黒点病

ジマンダイセン水和剤又はペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100ℓ
収穫30日前 4回

○ミカンハダニ
ミカンサビダニ

ダブルフェースフロアブル 2,000倍 33ml/水100ℓ 収穫前日 1回
又はダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 1回

○チャノキイロアザミウマ
ヤノネカイガラムシ
カメムシ類

スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

——【湘南ゴールド】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

8月下旬～9月上旬

○黒点病

ジマンダイセン水和剤又はペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100ℓ
収穫90日前 4回

○ミカンハダニ
ミカンサビダニ

ダブルフェースフロアブル 2,000倍 33ml/水100ℓ 収穫前日 1回
又はダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 1回

○チャノキイロアザミウマ
ヤノネカイガラムシ
カメムシ類

スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

○かいよう病(単葉散布)

コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

——【中晩柑】＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

8月下旬～9月上旬

○黒点病	ジマンドイセン水和剤又はペンコゼブ水和剤 600倍 166g／水100ℓ	収穫90日前 4回
○ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル 2,000倍 33ml／水100ℓ	収穫前日 1回
ミカンサビダニ	又はダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml／水100ℓ	収穫前日 1回
○チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g／水100ℓ	収穫前日 3回
ヤノネカイガラムシ		
カメムシ類		

はるみ・不知火は、初秋の乾燥で細根が枯死しやすいため、水分ストレスを受けやすく、小玉、高酸果の原因になります。敷わらマルチ、ナギナタガヤの草生栽培により梅雨明け後から秋にかけての土壌の過乾燥を防ぎましょう。著しく乾燥が続く場合は灌水も検討しましょう。

着果量が多いと樹勢の低下や枯死の原因になりますので、樹冠上部1／3から1／4は必ず全摘果をしましょう。また、1果当たり100葉を基準に早めの摘果をして大玉果生産を目指しましょう。

——【レモン】＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除	8月下旬～9月上旬				
○ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル	2,000倍	33ml／水100ℓ	収穫前日	1回
ミカンサビダニ	又はダニゲッターフロアブル	2,000倍	50ml／水100ℓ		
チャノホコリダニ				収穫前日	1回
○かいよう病・黒点病(単葉散布)	コサイド3000	2,000倍	50g／水100ℓ		
	(葉害軽減のためクレフノン200倍を加用する)				

毎年黒点病が多い園では、枯れ枝の園外廃棄を徹底し、ストロビードライフフロアブル3,000倍（収穫14日前 3回）を散布しましょう。

——【う め】——

病害虫防除 8月～9月

○モモヒメヨコバイは、ここ3年で被害が急速に拡大しています。葉に寄生すると、吸汁被害を起こし、葉色が徐々に薄くなり、白化して早期落葉を引き起こします。葉の被害面面積の割合が50～70%以上だと光合成に影響します。

モモヒメヨコバイを見かけた場合は テッパン液剤2000倍 50g／水100ℓ 収穫前日 2回を散布する。

○ケムシ類 ダントツ水溶剤 2,000倍 50g／水100ℓ 収穫前日 3回

夏季剪定 8月中旬～9月中旬まで

縮間伐を行い周囲から光が当たるようにするとともに、立ち枝(覆う枝)の間引きで樹の内部まで光が入るようにして翌年の花芽の充実を図りましょう。8月中に終わると効果が高いです。

(小梅や樹勢が弱っている樹は、夏季剪定は控えめにしましょう。)

——【キウイフルーツ】——

夏季剪定終了後に発生した夏枝や、剪定した部分から出る新梢が巻きついた部分を取り除きます。結果枝の葉を充実させ、果実へ養分が行きやすくするために、新梢を伸ばさないようにしましょう。＊カメムシ発生時は、スタークル顆粒水溶剤2,000倍 50g／水100ℓを散布（収穫前日 3回）

乾燥防止対策

初期肥大の時期には土壌を乾燥させないようにしましょう（敷わら・灌水）

——【か き】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除

8月上旬

○カキノヘタムシガ ダントツ水溶剤 4,000倍 25g/水100ℓ 収穫7日前 3回
カメムシ類 又はスタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回
コナカイガラムシ類
○うどんこ病 トップジンM水和剤 1,500倍 66g/水100ℓ 収穫前日 6回

炭疽病

8月下旬

○うどんこ病多発園 トリフミン水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 収穫前日 3回

灌水

肥大促進・充実のため、梅雨明け後に乾燥が続く場合は、1週間に1回程度灌水をしましょう。

——【く り】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除

8月上旬

○実炭疽病 ベンレート水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 裂果前但し収穫14日前 4回
○モモノゴマダラノメイガ フェニックスフロアブル 4,000倍 25ml/水100ℓ 収穫前日 2回

干ばつ対策 土壌の乾燥を防ぐために敷きわらをしましょう。(※梅雨明け前後に)

——【お 茶】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

土づくり

8月中旬までに苦土石灰120kgと有機物をすきこみ30cmくらいの深さに行いましょう。

病害虫防除

8月上旬～中旬

○チャノミドリヒメヨコバ ロディー乳剤(劇) 1,000倍 100ml/水100ℓ 摘採7日前 1回
イ

チャノキイロアザミウマ

チャノホソガ

チャハマキ

チャノコカクモンハマキ

○炭疽病 オンリーワンフロアブル 3,000倍 33ml/水100ℓ
摘採7日前 2回

8月中下旬

○カンザワハダニ ミルベノック乳剤 1,000倍 100ml/水100ℓ 摘採7日前 1回

整枝

一番茶以降、更新作業を行ってない園では、上旬をめどに整枝を行いましょう。

ただし、樹勢が極端に悪い場合は、整枝は行わないようにしましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。(前日は24時間前)

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△